【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2007-320963(P2007-320963A)
【公開日】平成19年12月13日(2007.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-048
【出願番号】特願2007-190153(P2007-190153)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/14　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/12
Ａ６１Ｐ　31/14

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月26日(2008.5.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マクロファージに対し感染性でないことを特徴とするヨーロッパ血清型の生弱毒化ブタ生殖および呼吸症候群ウィルス（ＰＲＲＳＶ）であって、但しインスチチュート・パッスールに受託番号Ｉ－１７５８として寄託された株ではない生弱毒化ＰＲＲＳＶ。
【請求項２】
コレクション・ナショナーレ・デ・カルチュール・デ・ミクロオルガニスメス（ＣＮＣＭ）・オブ・インスチチュート・パッスール（フランス国、パリ）にＮｏ．Ｉ－１４０１として寄託したハイブリドーマＡ２７により産生されたモノクローナル抗体Ａ２７に対し反応性であるが、インスチチュート・パッスール（フランス国、パリ）にＮｏ．Ｉ－１４０２として寄託したハイブリドーマＡ３５により産生されたモノクローナル抗体Ａ３５に対しては反応性でないことを特徴とする請求項１に記載の生弱毒化ＰＲＲＳＶ。
【請求項３】
ヨーロッパ血清型のＭＡ　１０４増殖ＰＲＲＳＶを非－ＭＡ１０４哺乳動物細胞に適応させることを特徴とする請求項１または２に記載の生弱毒化ＰＲＲＳＶの製造方法。
【請求項４】
非－ＭＡ　１０４霊長類細胞を非－ＭＡ　１０４哺乳動物細胞として使用することを特徴とする請求項３に記載の方法。
【請求項５】
ベロ細胞を非－ＭＡ　１０４霊長類細胞として使用することを特徴とする請求項４に記載の方法。
【請求項６】
請求項１または２に記載の生弱毒化ＰＲＲＳＶと医薬上許容しうるキャリヤとからなることを特徴とするＰＲＲＳＶ感染に対しブタを保護するためのワクチン。
【請求項７】
１種もしくはそれ以上の非－ＰＲＲＳＶ弱毒化もしくは失活病原体またはその抗原物質をさらに含むことを特徴とする請求項６に記載のワクチン。
【請求項８】

非－ＰＲＲＳＶ病原体がシュードラビエスウィルス、ブタインフルエンザウィルス、ブタパルボウィルス、伝染性胃腸炎ウィルス、ロタウィルス、エッシェリチア・コリ、エリシペロ・ルシオパチエ、ボルデテラ・ブロンチセプチカ、サルモネラ・コレラスイス、ヘモフィルス・パラスイス、パスツレラ・ムルトシダ、ストレプトコッカス・スイス、ミコプラスマ・ヒオニューモニアエおよびアクチノバチルス・プルーロニューモニアエから選択されることを特徴とする請求項７に記載のワクチン。

【請求項９】

皮膚内もしくは筋肉内の投与に適するキャリヤを含むことを特徴とする請求項６～８のいずれか一項に記載のワクチン。

【請求項１０】

凍結乾燥型であることを特徴とする請求項６～９のいずれか一項に記載のワクチン。

【請求項１１】

請求項１または２に記載の生弱毒化ＰＲＲＳＶを医薬上許容しうるキャリヤと混合することを特徴とするＰＲＲＳＶに対処するための生弱毒化ワクチンの製造方法。